

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		平成18年度		根拠法令・例規等
大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	
中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	
小項目	施策	03	障害者(児)福祉	
事務事業名		20	障害者相談員委託事業	問合先 担当課(室) 社会福祉課 職・氏名 障害者福祉係長 山本光男 電話 0869-64-1824

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	身体に障害のある方、知的障害のある方、その家族など。
目的(何のために)	身体に障害のある者の更生支援の相談に応じ、必要な指導を行い、福祉増進に資する。また、知的障害者又はその家族からの相談に応じ、必要な指導、助言を行い福祉増進に資する。
行政活動(どのような方法で)	身体障害者相談員11名、知的障害者相談員5名の方に相談業務を委託し、日常生活に関連した相談に応じてもらうとともに、身体や知的障害のある者に対する住民の認識と理解を深めてもらう。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	医療、就職、年金、施設、家庭などの日常生活に関係した専門知識を必要としない相談については、委託した16名の相談員で対応していくことにより、少しでも多くの障害者やその家族の支援をしていきたい。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	相談・指導件数(身体障害者)	件	236	221	222
	相談・指導件数(知的障害者)	件	132	115	139
	相談取扱人員(身体障害者)	人	222	193	209
	相談取扱人員(知的障害者)	人	113	96	88
実績	直接事業費	千円	490	490	490
	必要人員	人	0.10人	0.02人	0.02人
	事業費計	千円	1,050	667	690
	国	千円	490	490	490
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
	金	千円			
	受	千円			
	益	千円			
者	千円				
負	千円				
担	千円				
比	千円				
率	千円				

結果指標名					
結果指標①	相談・指導件数	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	結果指標量	件	384	336	361
	対前年比	%		87.5%	107.4%
	活動コスト	円	1,050,000	667,000	690,000
結果指標②	相談取扱人員	説明	相談を取り扱った実人数		
	結果指標量	人	335	289	297
	対前年比	%		86.3%	102.8%
	活動コスト	円	1,050,000	667,000	690,000

事業の成果					
相談・指導件数	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	到達目標値	目標値(A)			370
	実績値(B)	384	336	361	到達目標年度
達成率(B/A)			#DIV/0!	#DIV/0!	97.6%
成果指標設定の考え方・式や説明					
身体及び知的障害者相談員が1年間に行った相談及び指導の件数					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成20年度事業)	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> B 判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	この障害者相談員業務は、平成18年度より県から委託された業務である。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
	有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
市民参画度		<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	385	結果指標量②	310	成果指標量	385
状況	拡充		現状継続	○	見直し	
	縮小		整理統合		休止	
説明	相談員の高齢化により、訪問などの活動日数が減少傾向にあったことから、一部の相談員について若返りを図った。					

総合評価		評価区分<A~E> B 
相談員は、障害者にとっての身近な相談者として今後も必要な存在である。相談員によって、相談取り扱い件数にはばらつきがあるが、もっと積極的に障害者やその家族のために活動していただけるようお願いしていきたい。		

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	現状維持で実施し、少しでも多くの障害者やその家族の支援をしていきたい。					
	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
改善がある場合						